

令和7年度 桜学園つくば市立九重小学校グランドデザイン

【茨城県教育の目標】
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【校訓】
まじめになろう 人につくそう 正しく強くなろう

【学園教育目標】
夢をもち、自立して社会に貢献できる
児童・生徒の育成

【つくば市の目指す学園・学校像】
みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え
合い、みんなが生き生きした学校～
○教えから学びへ
○管理から自己決定へ
○認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

【学校教育目標】
夢や目標に向かって 自ら学び、力を合わせ、前向きに取り組む児童の育成

【目指す学校像】
・子供にとって幸せを実感できる学校
・教師にとって 能力が発揮できる学校
・家庭や地域に信頼され 開かれた学校

【目指す児童像】
「ここのえ」
こころやさしく友達に
こころをこめて何事も
のびのびチャレンジ
えがおであいさつ

【目指す教師像】
・児童一人一人を大切にする教師
・能力を十分に発揮する教師
・チームで取り組む教師

【学校経営方針】
「正解があらかじめ用意されていない課題にも他者と共に挑むことができる人財を育てる学校」
○「けじめ・あいさつ・思いやり」を胸に、笑顔で充実した生活を過ごせる学校
○教職員一人一人がその能力を十分に発揮しチームとして取り組める学校
○保護者・地域との連携・協働による地域とともにある学校

【組織目標】
「他者との対話を通して、自らの考えを深めることができる探究的な学びの推進」
○「単元構成・課題設定（問い）」の工夫と「試行錯誤・アウトプット・振り返り」の徹底
○対話的な学び・協働的な学びを進めるICTの効果的な活用
○一人一人が自己選択・自己決定できる個別最適な学びの場の設定

深め合う

- 主体的に学ぶための授業改善
・単元構成と課題設定の工夫
・試行錯誤の積み重ね
- 考えを深めるための授業改善
・対話的-協働的な学びの設定
・アウトプット-振り返りの場の設定
- 個別最適な学び
・ICTの効果的な活用
・個のニーズに応じた学びの工夫

考えを伝え深め合う授業実践
【達成目標】学校評価肯定意見85%

認め合う

- 自己肯定感・自己有用感の向上
・縦割り班活動「なかよし遊び」
・縦割り班清掃
・係・委員会の自発的活動の充実
- 他者との対話による理解
・「九重トークタイム」の実施
・「いじめ防止フォーラム」実施
- 道徳教育の充実
・「考え・議論する道徳」の実施

学校が楽しい・友達と仲が良い
【達成目標】学校評価肯定意見90%

鍛え合う

- 健康・安全に関する自己管理能力の育成
・防災訓練の充実
・情報モラル・薬物乱用防止教室
- 健やかな身体づくり
・体育の時間の活動時間の充実
・外遊びの奨励
- ・食に関する教育の充実
・「ゆったりマラソン」の実施

自分の健康・安全を考えて生活
【達成目標】学校評価肯定意見85%

信頼される学校

- 安全・安心学校作り
・教職員の危機管理の徹底と共通理解・チーム対応
・児童一人一人の心の居場所となる学校・学級づくり
・地域や学園と連携した学園・学校防災
- 教職員の資質向上
・働き方改革推進のための日課の工夫
(教材研究と子どもと向き合う時間の確保)
・コンプライアンスの確保とメンタルヘルス
(教職員との面談の設定)
- ・学園研修や校内研修の充実

信頼される学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

地域と共にある学校

- 積極的な情報発信
・HPなどを活用した情報発信、学校評価の有効活用
- 桜学園コミュニティ・スクール
・学園・学校の目標の共有化
・地域人材の活用
(おやじの会、読み聞かせ、保護者ボランティア等)
- 関係機関との連携
・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用
- 外部人材の活用
・つくば科学出前レクチャー、市立図書館、租税教室等

地域と連携・開かれた学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

【桜学園研修テーマ】
「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深めあう児童生徒の育成 ～課題設定と単元構成の工夫を通して～」